

アンケート「確認できず」

切手問題 市川市議会が報告可決

政務活動費で市川市議といた市議会百条委員会の委員長の報告が26日、開会中の大量に購入した件を調べて9月議会で行われ、全会一

致で可決された。報告書は

「アンケートを実施したことを示す痕跡は確認することとはできなかつた」としながらも「実施していないと断言することまでは困難」と指摘、調査権に限界があったとした。

調査したのは小泉文人市議(43)と鈴木啓一・元市議(74)が2011～13年度に実施したという8件のアン

ケート。昨年6月から19回開いた委員会でA4判82ページの報告書をまとめた。

報告書は、アンケートの印刷をめぐる「費用の残額合わせに架空の領収書を提出した行為は極めて不適切だ」、「アンケートはがきが1枚も残らず廃棄されたのであれば、管理がずさん」などと指摘。その上で調査終結でも説明責任は果

たされていないとして自ら説明を尽くすよう求めた。

小泉市議は、報告書について「提出を求めた資料の全てを提出しなかつたことや私の証言は信用できない」という理由をあげて、さも私が政務活動費を流用した疑いがあるかのような指摘を行っていることが残念でなりません」などとするコメントを発表した。